

地域医療構想調整会議名

鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議

令和 4 年度医師派遣調整に係る意見 回答様式

1 別添 1 「評価結果及び優先リスト」及び別添 2 「評価結果一覧」「付属資料（鹿行）」に対する意見

(評価結果及び優先リスト等について)

- ① 当医療圏は人口 10 万人対医師数など絶対的医師不足地域であり、鉄道や高速道路等の交通網も不十分な中、大きな基幹病院も持たず、患者の医療圏外への流失や長時間の救急搬送等も多く、住民の受療環境が他地域より極めて劣っていることを考慮いただきたい。
- ② 当医療圏の救急搬送 11,703 件（令和元年）のうち、6,035 件（51.6%）を小山記念、神栖済生会、白十字の 3 病院が対応しており、4,202 件（35.9%）は医療圏外へ搬送されている。この状況を踏まえ、昨年度、鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議及びワーキング会議で調整を重ね、2,000 台の受入増を目指して、地域の救急医療を担う主要 3 病院への 9 名の医師派遣を要望した。中・小規模の 3 病院が単独で救急搬送に対応することは困難であり、前記の検討結果は、救急医療における当医療圏の拠点化・役割分担に対する一定の考え方を示すものであり、昨年度の要請リストへ計上した診療科については、2-①項目で上位の評価をお願いしたい。

※ 鹿行医療圏の救急搬送の状況（令和元年）

- ・救急搬送全体の 35.9%（4,202 件／11,703 件）は鹿行医療圏外（県内 23.2%、県外 12.7%）に搬送。鹿嶋、神栖の 3 病院で全体の 51.6%（6,035 件）に対応。
- ・内訳は、脳疾患の救急搬送の 34.4%（201 件／584 件）、心疾患の 42.2%（244 件／577 件）、それ以外の種別・疾患の 35.6%（3,757 件／10,542 件）を医療圏外へ搬送。

2 その他

※ 回答欄のスペースが不足する場合は、欄を広げていただくか、別紙（様式は任意）に御記入の上、御提出ください。